

【特殊詐欺被害の認知件数及び被害件数の推移】

平成28年の特殊詐欺全体の認知件数は前年に比べて約2%増加、被害総額は約15%減少しました。
 被害総額は、振り込め詐欺約375.0億円（警察官等をかたってキャッシュカードを直接受け取る等の手口で、事後ATMから引き出された金額を加えた実質的な被害総額）と振り込め詐欺以外の特殊詐欺約32.6億円を合わせて約407.7億円となっています。



【平成29年の月別特殊詐欺被害状況】

被害額は切り上げ表記しており、平成29年の数値は暫定値です。
 数値右の（）内は前年同時期比を示しています。

平成29年	単月		累月	
	認知件数（件）	被害額（億円）	認知件数（件）	被害額（億円）
1月	904 (+169)	21.5 (-2.9)		
2月	1,406 (+260)	27.6 (-3.1)	2,310 (+429)	49.1 (-6.0)
3月	1,674 (+436)	34.7 (-3.6)	3,984 (+865)	83.8 (-9.6)
4月	1,685 (+528)	33.2 (-1.5)	5,669(+1,393)	117.0(-11.1)
5月	1,494 (+509)	33.5 (-3.7)	7,163(+1,902)	150.6(-14.9)
6月	1,700 (+519)	36.3 (-1.8)	8,863(+2,421)	186.8(-13.1)
7月				
8月				

※「特殊詐欺」とは、面識のない不特定の者に対し、電話その他の通信手段を用いて、預貯金口座への振込みその他の方法により、現金等をだまし取る詐欺をいい、振り込め詐欺（オレオレ詐欺、架空請求詐欺、融資保証金詐欺及び還付金等詐欺）及び振り込め詐欺以外の特殊詐欺（金融商品等取引名目の特殊詐欺、ギャンブル必勝情報提供名目の特殊詐欺、異性との交際あっせん名目の特殊詐欺及びその他の特殊詐欺）を総称したものを言います。